



ファンダメンタルズ プログラム・可視化ユニット

科学者とアーティストによる実験室での展示

混ざりあう実験

2026/3/30 月 - 5/1 金 入場無料(土日休み) 10:00-18:00

主催：可視化ユニット(右記7名の出品者による自主企画)

共催：山口大学研究推進体「最先端から文化・芸術まで科学する物質構造解析の展開」

山口大学吉田キャンパス・理学部 1号館 2階 247室

普段は研究を行う実験室で、アーティストと科学者が実験をテーマにした作品、研究などを展示する。使い込まれた研究室は、ところどころ色褪せた壁、シミが消えない床、使い勝手の良い配線経路など、科学者の手によって馴染んだ形、色、配置があり、アーティストのアトリエのそれと似た趣きがある。そこで展示構成をするのだから、作家達はおいそれと作品を持ってきてただ置くのではない。交流を重ねながら互いの視点を交換し、混ざったり、分かれたりして何か形ができていく。それがこの場所で見られる実験の様なものなのかもしれない。

この展示は3/28日・29日に山口情報センター[YCAM]で開催される「ファンダメンタルズ フェス mini in 山口」の一環として開催します。

ファンダメンタルズ フェス mini in 山口

会場：山口情報芸術センター[YCAM]

3/28 日 10:00-12:00 口頭発表
14:00-17:00 来場者との対話

29 日 10:00-12:00 口頭発表
14:00-16:00 来場者との対話

専門知識不要 / 出入り自由 / 展示物は常時鑑賞可

小畑亮平

角田優

黒沼真由美

コイズミアヤ

平山好哉

堀川裕加

三瓶玲奈

山口地区への
アクセス



吉田キャンパス
への地図



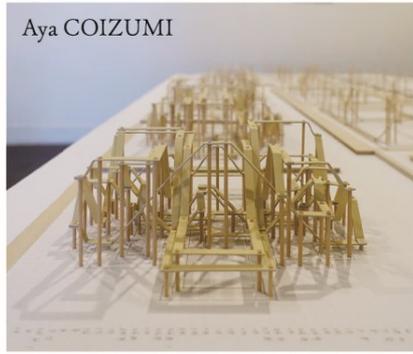
キャンパス内地図
理学部は18





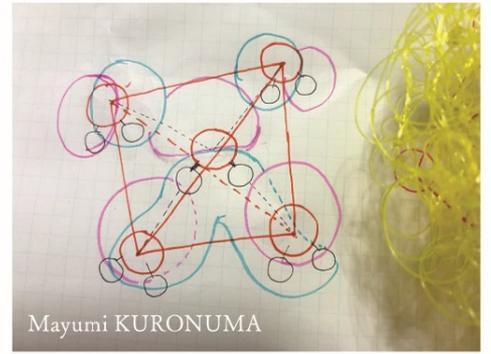
Yoshiya HIRAYAMA

平山 好哉：1984 神奈川県生まれ。東京造形大学美術学部彫刻専攻卒業(2008)。カールスルーエ公立美術大学ファインアート修了(2017)。映像、音、彫刻といった異なるメディアを複合させた総合芸術的な表現活動を行う。主な展覧会に「第10回岡本太郎現代芸術賞」(川崎市岡本太郎美術館、川崎、2007)、「OOO Object Oriented Ontology」(クンストハレパーゼル、スイス、2018)など。



Aya COIZUMI

コイズミアヤ：1971 東京生まれ。武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒(1994)。ギャラリーでの個展を中心に作品を発表。既存の概念や構造を、手仕事という身体的操作を通して、別の物理的・感覚的な像へとうつしかえる制作を行う。新潟県在住。『しくみの内側のしくみー思考する手仕事のレシピ』をコトニ社から出版(2024)。



Mayumi KURONUMA

黒沼 真由美：東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業、同大学院油画技法材料研究室修了。目黒寄虫館のサナダムシ標本を見てレース編みを始め、主にリアルな節足動物等の生物を編む。



Ryohei OBATA

小畑 亮平：1980 兵庫県生まれ。同志社大学文学部文化学科哲学及倫理学専攻卒業(2003)。京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術環境専攻修士課程修了(2019)。他者の行為の痕跡を手がかりに、立体、写真、映像などを使ったインスタレーション作品を制作している。主な展覧会に、個展「Their Breathing」(city gallery 2320、2025)、「神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond」などがある。



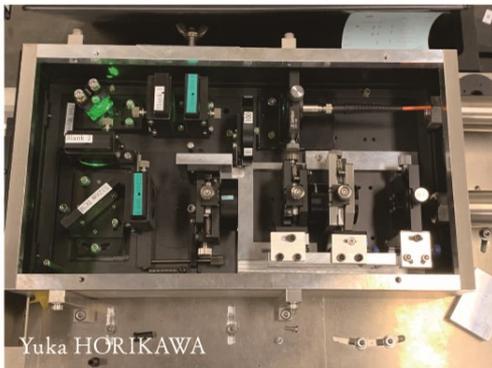
Reina MIKAME

三瓶 玲奈：1992 愛知県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了(2017)。光によって生じる現象を、知覚とその認識を通して観察し、そこから立ち上がるイメージを油彩で表現する。主な展覧会に、個展「色を見る」(Yutaka Kikutake Gallery、東京、2020)、「コレクション×現代美術 名古屋市美術館をめぐる4つの対話」(名古屋市美術館、愛知、2026)。主な収蔵先に愛知県美術館、広島市現代美術館などがある。



Yu KADOTA

角田 優：1983 京都生まれ。関西学院大学理工学部物理学卒業(2006)。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了(2012)。熱、放射線、カオス運動といった目に見えない物理現象や科学史に埋もれてきた学説に着目し、可視化する過程を彫刻と捉え作品制作を行っている。近年の主な発表は、「Study:サイエンスアートアワード2025ファイナリスト展」(大阪国際会議場、2025)、「熱が物質だった頃の」(Dalston gallery、2023)など。



Yuka HORIKAWA

堀川 裕加：山口大学理学部准教授(2023～)。博士(理学、2010 広島大学)。光を使って物質を調べる分光学研究に従事し、放射光軟X線を用いた分光測定、可視光を用いたラマン分光測定などを行っている。液体状態での分子のふるまいに興味を持ち、実験装置の作製、測定、スペクトル帰属のための量子化学計算を行いながら分子の世界の可視化に挑戦している。

※各掲載画像は参考作品および資料としてのイメージであり、実際の出品作品とは異なります。



理学部正面玄関に入って左手に館内図がございます。2階247室の詳細はここでご確認ください。



【吉田キャンパス(山口市吉田1677-1)へのアクセス】

- 山口宇部空港新山口駅行きバス乗り場→宇部市営バス(特急)37分→JR新山口駅バス停(終点)→防長バス平川経由30分→山口大学前バス停→徒歩3分
- 山口宇部空港駐車場→一般道5分→山口宇部道路宇部南IC(始点)→自動車専用道路30分→山口宇部道路朝田IC(終点)→一般道15分
- JR新山口駅5番バス乗り場(在来線側)→防長バス平川経由30分→山口大学前バス停→徒歩3分 / JR新山口駅新幹線口→タクシーまたはクルマで一般道25分
- JR新山口駅(始点)→JR山口線上り各駅停車19分→JR湯田温泉駅→徒歩25分 / JR山口線湯田温泉駅からJRバス「山口大学前バス停」下車
- 車 関東・関西方面から：中国自動車道湯田温泉スマートIC→一般道10分 / 山陽自動車道防府東IC→一般道30分 / 九州方面から：中国自動車道湯田温泉スマートIC→一般道10分



ファンダメンタルズ プログラムは、科学・技術分野の研究機関・大学の広報実務者やURAを中心に運営されている、非営利の探究交流プラットフォームです。現在は山口大学の教員・学生も企画や運営に参画し、日本各地から参加する科学者とアーティストが、成果や結論を急がず、思考の過程そのものに向き合うための探究の場を継続的に設計・運用しています。第1期(2021-2023)は東京を拠点に展開し、32組以上の科学者とアーティストによる長期的な交流が行われました。第2期(2025-2027)は山口県を拠点に展開しています。 展示「混ざりあう実験」への問合せ：山口大学理学部 083-933-5700(代表)



fundamentalz.jp